

# 記者発表資料

令和8年4月15日

横浜市スポーツ医科学センター

豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科

## 横浜市スポーツ医科学センターと豊橋創造大学の連携協定

横浜市スポーツ医科学センターと豊橋創造大学保健医療学部理学療法学科は、双方が有する人的資源、専門的知見、教育研究基盤等を有効に活用し、スポーツ理学療法分野における教育・研究・社会貢献の発展を図ることを目的として、令和8年3月30日に事業連携協定書を締結しました。

本協定に基づき、スポーツ理学療法領域における連携・協力を推進し、教育内容の高度化、臨床力・実践力を備えた理学療法士の育成、共同研究の推進、ならびに地域社会へのさらなる貢献を目指します。

### 主な連携事業

- (1) 豊橋創造大学への講師派遣およびカリキュラムへの助言・監修を通じて、スポーツ理学療法領域における教育内容の高度化を支援する。
- (2) スポーツ医科学センターにおける臨床見学・臨床実習・研修の受入れを実施し、臨床力・実践力を備えた理学療法士の育成を図る。
- (3) スポーツ理学療法分野における共同研究を推進し、学術的成果の創出を図る。
- (4) スポーツ医科学分野における社会貢献および地域医療への寄与を推進する。

### 協定書締結式



実施日：令和8年3月30日

場 所：横浜市スポーツ医科学センター

協定締結者：

■豊橋創造大学

学長 伊藤 晴康 (左側)

■横浜市スポーツ医科学センター

センター長 青木 治人 (右側)

#### 参考① 豊橋創造大学保険医療学部理学療法学科

豊橋創造大学は、愛知県豊橋市に位置する東三河地域で唯一の医療系大学です。保健医療学部・理学療法学科では、「地域に根ざし、科学的根拠に基づいたリハビリテーションを提供できる理学療法士」の育成を掲げる教育機関です。地域の健康を支える専門職の育成と、教育研究に取り組んでいます。



##### 【主な特徴】

#### 1. 実践力を重視した教育体制

最新の測定機器を備えた実習室など、充実した施設環境で「触れる」「動かす」といった技術を基礎から学びます。少人数制によるきめ細かな指導が特徴で、高い国家試験合格率を維持しています。



#### 2. 独自の「スポーツ理学療法」への注力

スポーツ分野に強い理学療法士の育成に力を入れています。プロスポーツチームや地域のアスリート支援に関わる教員が在籍し、最新の知見を学生に還元しています。

#### 3. 多彩な臨床実習と地域連携

愛知県内を中心に、病院、施設など、多岐にわたる実習先を確保しています。地域住民を対象とした公開講座や健康チェックも積極的に行い、学生が早期から社会貢献を経験する機会を設けています。

#### 4. 専門性の高い教員陣

基礎医学からスポーツ、老年期、中枢神経系まで、各領域の専門家が揃っています。教員自身も研究者として活動しており、最新のエビデンスに基づいた理学療法を学ぶことができます。

#### 参考② 横浜市スポーツ医科学センター

横浜市スポーツ医科学センター（神奈川県横浜市港北区小机町 3302-5 日産スタジアム内）は、1998年に横浜市民の健康づくりの推進、競技力の向上およびスポーツ活動の振興を目的として設立され、公益財団法人横浜市スポーツ協会が管理運営を行っています。



当センターのリハビリテーション科には、高度な専門性を有する理学療法士が多数在籍しており、スポーツ理学療法の知見に基づいた評価・治療を一体的に提供しています。特に、スポーツ外傷・障害に対する機能回復のみならず、再発予防やパフォーマンス向上までを見据えた包括的なスポーツ理学療法の実践に強みを有しています。



さらに、トップアスリート支援を通じて蓄積されたハイパフォーマンスの知見を、一般市民の健康づくり（ライフパフォーマンス）の向上へと還元している点も大きな特徴です。

#### お問い合わせ先

■横浜市スポーツ医科学センター（指定管理者：公益財団法人横浜市スポーツ協会）

事務管理部長 安室 睦芳 Tel 045-477-5050

■豊橋創造大学 保険医療学部 理学療法学科

副学長 / 大学院健康科学研究科長 / 理学療法学科教授 後藤 勝正 Tel 0532-54-9729